

第1回岡崎市特別職報酬等審議会会議録

- 1 日 時 平成30年11月8日(木)午後1時30分～午後3時00分
- 2 場 所 岡崎市役所東庁舎4階 第2来賓室
- 3 出席者 石川きぬ枝委員、大林市郎委員、神尾明幸委員、
白濱小夜子委員、竹内雅紀委員、中村孝弘委員、吉田修委員
- 4 欠席者 太田成紀委員、柴田江己子委員、山本尚樹委員
- 5 事務局 伊藤総務部長、鈴木人事課長、岩瀬人事課副課長、
深谷人事課主任主査、中村人事課主査
- 6 議 題
 - (1) 会長の選出及び会長職務代理の指名について
 - (2) 会議の公開・非公開について
 - (3) 資料説明並びに質疑応答
 - (4) 次回以降の審議会の日程等について

(1) 会長の選出及び会長職務代理の指名について

発言者	議 事 録
	岡崎市特別職報酬等審議会条例第4条第1項の規定により、委員による互選の結果、岡崎商工会議所会頭の大林市郎委員が会長に就任 岡崎市特別職報酬等審議会条例第4条第3項の規定により、会長が指名した岡崎市総代会連絡協議会会長の神尾明幸委員が会長職務代理に就任

(2) 会議の公開・非公開について

発言者	議 事 録
会長	岡崎市特別職報酬等審議会の開催を宣言。 審議会の公開・非公開について審議する。
委員	会議録に対して過去に問い合わせがあったか。匿名の情報で会議録としては足りる内容であったか。

事務局	市民の方から会議録について特に問い合わせはなく、会議録を閲覧した議員から議会での発言はあった。会議録として内容は足りるものであった。
会長	当審議会の会議については非公開とし、会議録については発言者氏名が入らないものを公開することに決定する。

(3) 資料説明並びに質疑応答

発言者	議 事 録
事務局	(資料の説明)
会長	事務局説明に対して質問等を求める。
委員	人事院勧告について、平成 30 年度の 0.16%の改定率は既に決定したものか。
事務局	国家公務員については閣議決定した報道があり、国会に上げられていく。岡崎市についても 12 月議会に上げたいと考えている。 資料では改定率が国家公務員と岡崎市とで相違がある。これは国家公務員と岡崎市との職員の人数構成が異なるため、元となる給料表は国家公務員と同じもので改定する。
委員	指定職は事務次官だけか。
事務局	事務次官だけでなく複数の職に適用されている。
委員	費用弁償をやめたというのは方針としてやめたのか。議員活動に支障はないか。
事務局	費用弁償は議会への出席のための交通費であり、議会活動のための出張の費用は別で支給される。
委員	岡崎市の政務活動費は中核市比較では 44 位と低額である。政務活動費にはどういったものが含まれるのか。
事務局	各議員が視察に行くための費用などが含まれている。 岡崎市では政務活動費は公開しており、必要な分は精算をしている。
委員	本審議会では政務活動費や費用弁償については審議しないという理解でよいのか。
事務局	審議の対象ではなく参考事項である。
委員	議員の兼職、兼務の可否について規定があるのか。
事務局	一般職は地方公務員法の規定により兼業は禁止されてい

	るが、特別職については兼業規定がないため、他の職に就くことができる。
委員	報酬月額等の比較資料によると、愛知県の中で比較すると2番目であるが、中核市で比較すると16番目と、差があるが。
事務局	岡崎市が中核市に移行したのは平成15年で、それまでは県内や県外の同等規模の自治体の状況と比較していたが、平成15年以降は中核市の状況とも比較検討を行っている。 市長・副市長については中核市の状況と比較しても大差ないため、平成27年、29年の改定では、リーマンショック以前の状況に戻すこととし、改定率は低めであった。一方、議員報酬は中核市の中で順位が低いため、市長・副市長よりは高めの改定率となった。 年収については市長・副市長は地域手当が支給されるが、議員は支給されない。岡崎市より地域手当が低い自治体が多いため、市長・副市長の年収は、月額で比較した場合よりさらに上位になっている。
委員	愛知県知事等の報酬について調べてほしい。
事務局	愛知県知事等の報酬について報告する。 知事 1,354,000 円 副知事 1,073,000 円 議長 1,209,000 円 副議長 1,064,000 円 議員 974,000 円
委員	中核市の報酬額等の比較で西日本の報酬が高い傾向があるがなぜか。人口規模は40万人を超えると報酬が高いという傾向もある。
事務局	他市でも審議会では報酬を決定していくが、人口規模や財政力の状況を考慮する傾向があるので、人口規模が多いと高くなる、財政状況が好調だと高くなる傾向はあると考えられる。
委員	人口が多いと歳入状況が良いのか？
事務局	必ずしもそうは言えない。例えば財政力指数は豊田1.52、岡崎1.01、豊橋0.98となっているが、そういったところも考慮して決めていくことになる。財政力指数は愛知県では豊

	田、刈谷、みよしが突出している。全国中核市で見ても、人口規模が同等の中核市でも東北や四国九州では低い傾向にある。
委員	人口規模が大きい、財政状況が良い市が報酬が高いとはいえないのではないか。西の方が報酬が高い傾向にあるように見えるが、財政状況が必ずしも好調ではない。財政力だけで決定しているわけではない。
委員	報酬が高いといった指摘が国からあるようなものか。
事務局	そういった指摘は特にない。
委員	政務活動費はすべて領収書が必要か。
事務局	透明化を図っており、必要である。
委員	岡崎市の政務活動費が安いのはなぜか。政務活動自体が少ないのか、あるいは批判を受けたくないため安いのか。
事務局	政務活動費は批判を受けやすいため自浄が働いているように思われる。
委員	財政状況が悪くても政務活動費も多く、報酬も多い市も見受けられる。
委員	岡崎市の来年度予算の歳入状況の見通しはどうか。
事務局	歳入決算における税収は過去最高となっている。来年度も同等か、やや減の歳入予算編成をしていくと思う。
委員	財政力が無いのに報酬を上げていくということであれば、市民感情を考えていくと難しいのかもしれないが、財政状況も好調であればある程度報酬を上げていってもよいのではないか。地方交付税も不交付だが自立した岡崎市ということで努力の結果だ。
委員	報酬を低くする、あるいは据え置きすれば批判はされないが、報酬を上げるとなると批判があるかもしれない。しかし、そういったことは別にして考えなければならない。過去にリーマンショックで報酬を下げたが、リーマンショック前でも、さほど報酬を上げてはいない。 報酬を抑えれば批判されないだろうという考えもあるのかと思われるが、政情がらみに対して、議員の活動はお金の心配をしていけばできないという面もあり、そういう観点で審議会の中では議論していてもよいと考える。
委員	政府は経団連に給料を上げるように言っているが経済界

	が応じないという面もある。政府自体が給料を上げるべきと っている状況という点も考慮する必要があるのでは。
委員	新しい委員の意見を求める。
委員	第一印象は報酬は安いと感じたが、他市と比較すると高い 水準にある。どこと比較するべきかという正解がないとすれ ば、活動に支障が出る、なり手がいなくなるということも考 慮するのがよいと考える。
委員	市長・副市長・議長・副議長・議員の報酬額の推移につい て、過去最高額はいくらか。
事務局	議長・副議長・議員は現在が過去最高であり、市長 1,133,000 円、副市長 951,000 円が過去最高額である。
委員	市長・副市長の報酬に関しては財政状況、人事院勧告の改 定率が参考指標になると思う。 議員に関しては定例議会が年 4 回開かれるが、議員提出の 議案の本数だったり、一般質問の数などで、質を量ってみて はどうか。数で質を量るのは難しいが、議員は年々報酬が上 がってきている。自治体の人数で比較するだけでなく、他の 議会の活動とも比較することができれば指標になる。 選挙で選ばれている以上、市民の意見を反映するための議 員からの積極的な議案の提出などの状況を比較できれば、よ り考えるきっかけになるのではないか。
事務局	議員活動については次回に資料を提出させていただく。
委員	報酬から税金は控除されるのか。
事務局	控除される。
委員	岡崎市のすべてを背負っているトップの方々だと思うと、 報酬の額は控えめだというのが印象である。他市との比較と いう点では、そう乖離しているとも思えないが、市民の声を 聴いて吸い上げて、岡崎市のために働いている方だと思っ と、もっと報酬を上げてよいと考える。 議員の報酬が一律という点について、仕事に応じた報酬と いう観点があってもよいと感じている。
委員	各議員の仕事に応じた報酬という意見に賛成する。
会長	今回は審議会を終了とし、次回までによく検討いただきた い。

(4) 次回以降の審議会の日程等について

発言者	議 事 録
事務局	第 2 回審議会を 11 月 29 日（木）の午後 1 時から、第 3 回を 12 月 21 日（金）の午後 2 時からの開催で進めたい旨を説明。
会長	第 1 回審議会の閉会を宣言